

火災について



消防署より

■お問い合わせ
下川消防署 ☎・☆4-2119

令和4年（1～12月）における全国で発生した火災件数は36,375件であり、おおよそ1日あたり100件、14分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災の主な発生原因は、たばこ、たき火、コンロ、放火、電気機器の順であり、これらの全ては一人一人が注意すれば防ぐことができますので、火災にならないように心がけましょう。

さて、これからの時期になると花火を楽しむ機会があると思いますので、花火による事故を防止するためには花火に記載された注意事項をしっかりと守りましょう。また大人は、子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取り扱い方法を教える必要があります。

令和5年の状況（6月末現在）

救急出動件数	65件
火災件数	1件



電気火災には注意しましょう!

今では日々の暮らしには欠かせない電気製品で部屋を見渡せば、囲まれているのではないのでしょうか。しかし、その便利な電気製品にもちょっとした使用者の不注意で火災になった例は少なくありません。そんな火災を少しでも減らすために、十分に注意しましょう。

火災の原因で「トラッキング現象」という言葉を耳にしたことはありませんか？

コンセントのプラグにホコリが溜まり、湿気などの水分が付着することで電気が流れてショートし、炎が発生するという現象です。また、家具などでコードを踏みつけていて断線しているとそこから発火することもあります。このように、電気製品の電源がOFFであってもコンセントにプラグが挿さっているだけで火災が発生する可能性がありますので、次のとおり注意し取り扱しましょう。



トラッキング現象による火災の防止策

1. 使用していない電気製品は出来るだけプラグをコンセントから抜き、定期的に掃除をする。
2. 冷蔵庫やテレビなど差しっぱなしのプラグは時々点検してホコリをふき取る。
3. トラッキング防止加工されたプラグカバーを使用するなどの対策も考慮する。